



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

(国際ロータリー会長 シェカール・メータ)
2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
(第2660地区ガバナー 吉川秀隆)

4月 会員誕生日 おめでとうございます

4月 2日 長崎 武会員 4月 7日 西野文秀会員 4月11日 黒川友二会員
4月20日 網干康史会員 4月22日 石川益三会員 4月24日 中川博之会員

臨時総会議事録

- 1.2021～2022年度上半期会計報告が承認される。
- 2.望月英成氏が名誉会員として承認される。

オムライス体験教室のデモンストレーションについて

4月17日(日)に三姉妹共同国際奉仕事業(旧WCS)活動として行われる、オムライス体験教室のデモンストレーションを、関係する委員会の会員8名と当日アシスタントを行うRAC会員5名にて、4月3日(日)に行いました。

13時より難波千日前公園と河原会館にて会場設営と、15時よりおでんの楽にてオムライス調理体験の練習会を開催し、会場設営では、テントの張り方からシートカバーの位置確認をしました。

また、オムライスの練習会では、当日アシスタントを担当するRACやRC会員の方々に、北橋元会長より、当日さながらご指導を賜りました。

感想としては、「これまで料理をしたことなかったが、作ることができてびっくりした!」や「難しいと思っていたけど、すごく分かり易い!」「自分で作ったオムライスは凄く美味しい!」など、楽しい雰囲気の中で進めることができました。

改めまして、企画の主旨をご理解頂き、実演内容を参加者に合わせてアレンジしてご教授いただきました北橋元会長に心より感謝致します。また、借りることの難しい公園を会場としてご用意いただきました千田元会長と、実演練習会の練習場としてお店を開放いただきました西野元会長にも大変お世話になり有難うございました。

今回の企画は、多くの方々のご協力のおかげで進めることが出来ております。4月17日の子ども食堂へのオムライス体験教室に、多くの会員のご参加をお待ちしております。

文責：三島敏宏



これからの予定

4月 9日 (土) 2022-23年度のための地区研修・協議会 4月14日 (木) 例会
4月17日 (日) 三姉妹共同国際奉仕事業 オムライス体験教室 4月21日 (木) 例会
4月28日 (木) 例会
5月 3日 (火・祝) ～5日 (木・祝) 春のライラ 5月 5日 (木・祝) 休会
5月12日 (木)

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
4月7日(木) テーマ 「自己紹介」 卓話者 吉田啓介会員 秋田祐作会員	4月14日(木) テーマ 「ごみを捨てる」 卓話者 林 博之会員	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第16回例会 本日のプログラム

開 会 (点鐘) 通算第2134回例会

- ・国 歌 君が代
- ・ロータリーソング「奉仕の理想」
- ・ソングリーダー 岡本真一郎会員
- ・来客紹介 友好委員

会 食

- ・歌とピアノ 木下裕子
- ・会長報告 西原芳博会長
- ・幹事報告 中川静夫幹事
- ・委員会報告 各委員長
- ・出席報告 出席委員
- ・ニコニコ箱報告 S A A
- ・卓話

閉 会 (点鐘)

♪ 奉 仕 の 理 想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー
ロータリー

ニコニコ箱報告

前回の合計	¥130,000(休会)
本日までの累計	¥1,630,000(54%達成)
3月末の予算額	¥2,990,000

出席報告

前回	3月31日	3週前 3月10日(休会)
会 員 総 数	58名	
出 席 会 員 数	38名 (20出席2名含)	出席免除を除く MUを含む 修正出席率
出 席 率	73%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：西原芳博 幹事：中川静夫 会報・雑誌委員長：赤坂 宏 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

4月は「母子の健康月間」です

前回の記録 第15回 3月31日(木)

★来客紹介：長田友好委員

東村会員のゲスト
飛田 了介様



★会長報告：西原会長

1. 3月10日の臨時報の最後に、ロータリーの奉仕への考え方や歴史も様々である事にふれましたが、先日「邦文定款第4条への疑問」という冊子が届きました。これは、2004年にこれを題材にした「定款翻訳問題検討委員会」を立ち上げた 東大阪みどりロータリークラブから届いたもので、改訂を重ね今回が第27版にあたるものでした。初版のきっかけとなったのは、1962年にRIが定款の日本語版の翻訳者として定めた手島知憲、宮脇富、両RI理事経験者を指名し、なされた翻訳への疑問点を投げかけるというものでした。とりわけ第2節第4条のObject(目的)を「綱領」と訳した所が始まりのようです。「綱領」とは物事の最も大切なところ、要点といった意味を指すようで、2012年の改訂版では「目的」と改訂されました。私のような無知な人間からすると「綱領」≒「目的」に感じますが、ロータリークラブの先人たちは、このような微妙な言葉のとらえ方ひとつもロータリー精神に大きく影響を及ぼすとして、討論を重ね定款をも改訂していたったようです。その中で、2011年まで第4条綱領、のちの「目的」の中の第4条として「奉仕の理想に結ばれた専門職業人の世界的『親交』によって国際間の理解と親善と平和を推進する事」とありました。この『親交』はRIの公式文書の定款では『a world fellowship』とあり、和訳すると『世界的な団体』となりますが、恐らく1962年当時は意識され『親交』とされたようです。しかしながら、2012年の改定ではこれが『親交』→『ネットワーク』とさらに意識されたようです。この意図は定かではありませんが、『団体』と直訳されてしまうとロータリーの先人達の顔に泥をぬりかねないという配慮があった様です。又、排除された『親交』という意識が、I serve=ロータリーにつながっているという考えもあるようですが、私個人的にはそうは思いませんでした。我々ロータリアンが高潔な専門知識をもった職業人の個体であり、「I serve」の精神を宿らせ、その延長線上にロータリークラブの団体での価値が高められ、国際的ネットワークにもなり得るものだと考えます。

「a fellowship」に相当する組織として「ロータリー財団」が結成されたと思いますが、それが「I serve」を否定するものではない様に思いますが、会員様のお考えは如何でしょうか。定款一つ取って歴史的背景のもと、討論変化が繰り返されているように、ロータリークラブがポールハリスたちにより立ち上げられてからも考えの違いにより分裂、団結を歩んできました。私たちは夏元会長を

はじめ、色んな先輩方にもそういった歴史を教わってきましたが、このような事を加味し、自分たちの大阪難波の奉仕感、親睦感を持たなければならぬと考えさせられました。
2. 東村会員が転勤となり、本日で例会への出席が最後となりましたのでご挨拶頂きます。



★幹事報告：中川静夫幹事

1. 本日例会終了後、臨時総会を開催させて頂きましたので、少しお残り下さい。
2. 来週例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので理事役員の方はご出席下さい。
3. 第2660地区より委嘱状が届いております。次年度ガバナー補佐として活動いただく伴井会員、地区ローターアクト委員会へ出向いただく米澤会員、地区クラブ奉仕・拡大増強委員会へ出向いただく福田会員です。



★委員会報告

◇国際奉仕委員会：松田委員長

トンガ海底火山噴火による災害及びウクライナ人道支援の支援金について

◇国際交流三姉妹委員会：三島委員長

三姉妹共同国際奉仕について、前回社会奉仕にて支援させて頂きましたこどもの居場所連絡会を継続支援させていただきます。国際奉仕として活動しますが、RACメンバーのバックアップにより青少年奉仕と、職業講演を行ないますので職業奉仕と共同で開催させて頂きます。講演&調理実習について北橋元会長のご尽力とご厚意、千田元会長の会場設営へのご協力とご支援のお陰で企画することが出来ました。ご多忙と存じますが4月17日(日)是非ご参加頂きましてキラキラ輝く子ども達の目を見て頂けたら幸いです。

★ニコニコ箱報告：長崎会員

西原芳博：皆様お久しぶりです、残り3ヶ月となりましたが宜しくお願い致します。

中川静夫：例会の再開を祝して。

谷口 勉：久方振りに元気なメンバーの皆様にお会いできて嬉しいです。感謝しています。

白野陽一：西原会長、プーチン懲らしめて下さい。

伴井敬司：結婚記念日、自祝。久しぶりの例会楽しみです。

菰田吉見：本日出席させて頂き、皆様の元気なお顔を見られ嬉しいです。

岡西豊博：お元気で再会でき感謝です。

徐 正萊：久しぶりの例会、皆様に会えてうれしいです。

伊藤 仁：ご無沙汰しています。久しぶりの例会で皆様にお会いできて嬉しいです。

林 博之：お久しぶりです。カレーライス食べられてうれしいです。

松浦孝尚：久しぶりの例会、皆様にお会いできて嬉しく思います。

米澤 勉：お久しぶりに皆様にお会いできて嬉しく思います。

松田禎胤：仕事の方は相変わらずですが、久しぶりに皆様とお会いできて元気が出ました。

福田 忠：ウクライナの平和を切に願います。私たちは例会を開催できていますがウクライナ国内の62ものロータリークラブは今どうなっているのだろうと思ってしまいます。ロータリー会員として出来る事を考えていきたいと思っています。

森田 納：久しぶりの例会、楽しみです。

森 圭司：お久しぶりです。皆様の顔が見れてうれしいです。

清水一人：お久しぶりです。

鉄崎 薫：例会再開の喜びと、先月家内の誕生日のお花の御礼。

三島敏宏：皆様とお久しぶりにお会いできて嬉しいです。4/17オムライス体験教室、宜しくお願い致します。

本間一成：妻の誕生日、今年は特に素敵なお花有難うございます。

中川博之：祝例会再開!!久しぶりに皆さんと再会できて嬉しいです。

岡本真一郎：皆様、こんにちは。今日も楽しく宜しくお願いします。(桜、きれいです。)

宮本倫明：誕生日お祝い御礼。祝例会再開!!

日高雅哉：お久しぶりに皆様とお会いできる事を楽しみにしておりました。

長崎 武：祝例会再開。引き続きよろしく願います。

★卓話 テーマ 「日本一の大地主」 卓話者 本間一成会員

私の祖父は佐渡島の対岸、新潟県北部、山形県に近い所の出身です。佐渡島の本間氏は鎌倉時代初期に守護代として入国しました。その名前の由来は今の神奈川県相模国のある地域から来ています。佐渡島は北方4島を除けば沖縄本島に次いで大きな島です。なおかつ本土から離れていたため侵略されることもありませんでした。島を統括するにあたり道内5カ所に砦のようなものを築き5つの分家に分かれて収めていましたが時代を経てそれぞれで争い最終的には北部と南部に分かれてしま

いますが、いずれもが上杉家に抵抗します。上杉家との関係を申しますと、上杉謙信の父長尾為景が戦に敗れ婚姻関係にあった本間家を頼り佐渡島に訪れ本間氏の援助のもとに越後に上陸をし、領地を復活します。本間氏に助けられながら後代になると佐渡の金銀に目がくらみ佐渡を征服し恩を仇で返します。いつの時代も金が絡むと厄介なことになります。

ところで江戸時代には罪人を島流しとして金をとっていたのが有名です。もともとは銀鉱山で戦国時代には石見銀山と並ぶほどの銀を算出していました。掘り尽くした後に金の採掘に移った様子です。上杉謙信の養子の上杉景勝の佐渡征服がこの金が目当てです。本間家の中には弱小家もあり、そのうち上杉景勝軍が上陸し抵抗していた北部と南部の本間氏を征服し当主は首をはねられます。他の3家の本間氏は上杉に従い、越後さらに会津米沢一部は酒田へと移っていきます。この坂田へと移っていった本間氏が商売を行い成功します。これ以降佐渡に残った人たちを本間氏と区別をし酒田を本間家と呼びます。昨年11代目の本間万紀子氏が亡くなりました。酒田で成功した本間家は砂防林の植林をしたり、また飢饉の際には多くの農民が餓死したことを教訓に農作物を豊作の年に貯蔵備蓄をし、いざと言う時に放出する計画をしました。計画は維新後も続き昭和20年ごろまで維持されたとのことです。また田園に整備された試験場(本間農場)で小作人に対する農業指導を行い米の価値向上につなげました。本間家のもう片方の資産づくり金融業について申します。酒田ではありますが大阪堂島の米会所に先物取引で当てたり大名貸しを行うなど、その得た利益で土地を購入していきました。また酒田港の整備にも力を注ぎ北前船での商いも収益を上げ6隻もの北前船を所有していました。三井住友とも劣らない大商豪となっておりました。北前船と並ぶ本間家の二大資産、金融資産株相場です。江戸時代には酒田にも米相場があり大阪堂島の米相場と連動した動きをしておりました。これに目をつけた宗久が大阪の情報を早く仕入れ大儲けをしました。勝つのは当たり前です。現在の情報化社会のスピードからは考えられませんが江戸時代は、すごいやり手です本間家は日本一の大地主と言うことで話を進めてきましたが、実は違います。北海道の前田家です。鹿児島出身ですが、政府の役人です。退官したあと政府より未開拓地を農地として開拓すると言うことで3800町の払い下げを受けます。阿寒湖周辺の土地です。さらに買い増しをして5000町として環境保全を目的として財団化します阿寒湖周辺の景観植物野生動物温泉道です。最終的には東京から住居を移し個人所有を移し変え財団の理事長顧問となります。現在は2代目の奥様が3代目です。所有形態は変わりますが、日本一の大地主です。

